

## 事業実施報告書

法人名	特定非営利活動法人リバリュールライフ
活動名	対話の実践と対話を活用したひきこもり等支援
助成事業の種類	SDGs推進活動助成 人間分野
<b>事業の目的</b>	
<p>「当たり前」や「普通」といわれることにうまく適応できない人々が多く存在します。例えば、障害者、女性、子ども、高齢者、生活困窮者、引きこもりの方々などが該当します。彼らは、社会の中で適応できないことで自己価値を見失うことが多く、結果として孤立することがあります。</p> <p>本事業では、様々な生き方があることを伝えることで、そうした方々が少しでも安心感を持って生活できるようになることを目指しました。また、対話を通じて、すべての人が元々持っている力を見つめ直し、それらを組み合わせることで新たな価値を創造することを目的としています。</p>	
<b>事業で取り組んだ地域や社会の課題</b>	
<p>障害のある人や引きこもり、高齢者などは、しばしば「支援する側」と「支援を受ける側」というパワー構造の中に置かれがちです。このような一方的な関係では、当事者の声が十分に聞かれないことが多くなります。本事業では、こうしたパワーの非対称性を取り除き、対等・水平な関係を築くことで、これまで聞こえなかった声を聞くことができる環境を構築することを目指しました。</p> <p>また、不登校や引きこもりの方々は、今後の生活に対する不安や孤独に苦しんでいることが多い一方で、不登校や引きこもりを経験した人々がその後様々な生き方をしているという事実が十分に共有されていません。この情報が広まらないことが、不登校や引きこもりの長期化の一因となっていると考えました。</p>	
<b>取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果</b>	
<p>①「オープンダイアログ実践勉強会」を開催し、オープンダイアログといった対話の手法を地域に広めていき、安心して話せる場の構築を目指した。毎月1回、夕方から地域の公民館を会場とし「オープンダイアログ実践勉強会」となり開催し、支援職や障害のある方、学生など様々な立場の延べ50名の参加を頂きました。また、現在支援に従事している人向けに精神科医でオープンダイアログトレーナーでもある森川すいめいさんをお招きして拡大実践勉強会も開催し20名の参加がありました。</p> <p>②不登校や引きこもりといったネガティブな経験を語り、それを今困っている人たちに伝えるためのリカバリーストーリーの動画作成を行った。3名の方の体験をリカバリーストーリーとして合計4本の動画を作成し当法人のホームページ及びyoutube、Instagramにて公開を行った。</p>	
<b>事業実施により達成した成果の具体的な内容</b>	
<p>オープンダイアログ実践勉強会では、参加された方たちから対話の重要性や、対等・水平である対話の手法の必要性などについて多く語られた。また、継続してオープンダイアログ実践勉強会に参加される方も多くあり、その関心度は高いと感じている。まだ地域にその実践を広めるまでの状況には至っていないが、その必要性については一定地域に広まりつつあると感じている。</p> <p>リカバリーストーリーの動画作成については、公開間もないこともあり、まだその成果について実感することは少ないが、撮影スタッフや編集スタッフ間では一人の人の話をじっくり聞く機会はとても重要で、さらに普段余り聞くことがない不登校や引きこもりの体験談とその後についての話しはとても貴重だったとの感想も語られた。これは動画を視聴してくださる多くの方も同様だと考えている。</p>	

<b>費用面での工夫</b>
活動全般として、作業を外注すること無く、役員や会員のサポートを受けて実施するようにした。
オープンダイアログ実践勉強会では参加者にできるだけ安く参加して頂けるよう一般のオープンダイアログ研修会より安価にすることとした。
そのために、勉強会開催については必要最低限の費用で抑えるように工夫をした。
リカバリーストーリーの動画作成については外注することなく、法人の会員に声をかけ、撮影や編集についてお手伝いいただくようにした。
動画編集のスキルがある会員の助力もあり、安価に動画作成と公開まですることができた。
<b>地域社会への還元</b>
普段聞くことがなかなか出来ない声を聞くための方策として「オープンダイアログ」という手法を一定広めることが出来た。また、勉強会を機会に
地域で活動している様々な個人・団体とも新たな繋がりを持つことが出来、今後の事業連携など行える可能性も広がっている。
リカバリーストーリーの動画公開については、講師参加させてもらったひきこもり支援者研修会などでもご紹介をし、その価値について一定の評価を頂いた。
また、現在不登校や引きこもりで苦しんでいる人がこの動画に触れることにより多様な生き方が出来る事を知ってもらえる機会となっていると考えている。
<b>今後どのように事業を継続し発展させるか</b>
二つの事業とも継続して行く必要性を感じているが、いずれも活動資金の確保が課題となる。
一般的なオープンダイアログ研修会は一定金額を取るところも多いが、同じように参加費を上げてしまうと地域への拡がりは弱くなってしまう可能性がある
あると考えている。できるだけ多くの人に参加できる形態を今後も継続するため助成金やクラウドファンディングなどの資金面の工夫を検討したい。
リカバリーストーリーのコンテンツ化については、クラウドファンディングやこの活動に賛同してくれる企業や団体などを探し、動画内に協賛ロゴを入れる
ことにより必要な資金を確保したいと考えている。
また、リカバリーストーリーを話して頂ける方についても継続して募集していき、より多くのリカバリーストーリーを作成し、多様な生き方があることを今苦しんでいる人たちに少しでも届く活動として継続したい。

## 事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人リバリューライフ

### 1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
助成金	284,000	284,000	0	
自己資金	3,918	4,975	1,057	
活動実施による収入等	60,000	49,000	△ 11,000	
その他	0	0	0	
収入の部 合計	347,918	337,975	△ 9,943	

### 2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額 A	決算額 B	増減額 C=B-A	備考
会場費	7,100	8,800	1,700	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	2,000	660	△ 1,340	
消耗品費	58,710	58,112	△ 598	
備品費	62,400	62,905	505	
委託費	0	0	0	
謝金	120,000	120,000	0	
人件費	94,500	84,500	△ 10,000	
その他	3,208	2,998	△ 210	
支出の部 合計	347,918	337,975	△ 9,943	